

平成30年 8月16日発行

ふる里からの『ふくろうだより』8月号(葉月)

発行者:



あかるく やわらかく やさしく
 社会福祉法人 真明会
 ティザービスセンター ふる里

長崎県 大村市 鬼橋町 1416番地
 TEL (0957) 27-4500
 FAX (0957) 27-4501
 ホームページ検索: ティザービスセンターふる里

『今年の甲子園は100回目の記念大会!』

昨年も夏の高校野球甲子園大会の事を書きましたが、今年は、100回の記念大会になります。平成最後の夏の高校野球甲子園大会であり、かつ20世紀生まれの選手が出場する最後の高校野球甲子園大会でもあります。長崎県からも、創成館高等学校が出場します。県予選を見ていましたが、本当に強いチームだなと感じました。結構いいところまでいきそうです。期待しましょう。

今NHKの朝のニュースの中で、100回記念大会を振り返って、これまで甲子園に出場した選手の中からひとりずつ選出して“甲子園の思い出を語る”企画番組が流れています。第1回目は、“球界の若大将”と呼ばれていたジャイアンツの原辰徳(はら たつなり)前監督でした。神奈川県にある東海大相模高校で1年生から三塁手のレギュラーとして三年連続甲子園大会に出場されました。当時の東海大相模高校の監督は、父親である原貢(はら みつぐ)前監督でした。原辰徳氏が「中学校を卒業したら、東海大相模高校に入学して野球をしたい。」と父、貢氏にお願いした時、貢氏は何度も「親子だからダメだ、他の生徒が特別視するからダメだ!、他の生徒以上に厳しくすることもおかしい。だからダメだ!」と断ったそうです。原辰徳氏が何度も何度もお願いして、やっと貢氏からOKが出て晴れて東海大相模高校の野球部に入部できたそうです。その時に原辰徳氏にいった貢氏の言葉は、「人は1回なでる時でも、お前には3回なでる。」と言ったそうです。その言葉を原辰徳氏は受け止め覚悟して入部されました。それはそれは厳しい指導だったそうです。何度も何度もなでられたそうです。辰徳監督もどんなになでられても、くじけずに父、いや監督 原貢氏について行ったそうです。東海大相模高校時代の甲子園成績は、優勝こそ無かったのですが、1年生の時の夏はベスト8、2年生の春は準優勝。



夏はベスト8、3年生の夏は2回戦敗退という結果でしたが、2年生の夏の大会準決勝で連続敬遠されたことでスタンドのファンが騒然となったというのは有名です。3年生の夏の地方大会では、観客収容力の高い『保土ヶ谷球場』にして、客の安全を図ったそうです。原辰徳前監督は目を細め、「良い思い出ですよ。高校野球のそれはそれは厳しい練習や負けた時の思い出は、ジャイアンツ時代の苦難を乗り越え、人生あきらめない強靱(きょうじん)な魂・精神が築かれました。」と話されました。

100回目を記念し、深紅の大優勝旗が京都の西陣織で新調されました。各地方大会の分まで新調されたので56の『優勝旗』が作られました。甲子園大会の深紅の大優勝旗は、製作に1年2カ月かかり、そしてその値段は1200万円だそうです。補足ですが甲子園大会のキャッチフレーズは、「本気の夏、100回目」です。頑張れ~高校球児! 暑い夏に負けるな!

From センター長 森 隆敏



今年もふる里恒例行事の『そうめん流し』を17日(火)・18日(水)・19日(木)の3日間行いました。メインのそうめん流しの前には、お腹を空かせる為に、皆さんで楽しめるレクリエーションを行いました。その前に…職員による『よさこい』や『フラダンス』などの踊りで楽しい行事の始まり♪はじまりい♪



職員によるよさこい♪

3日間、夏をイメージしたレクリエーションのゲームで楽しい行事ができました♪

1日目は「スイカバスケット!」。得点の高いカゴを狙ってスイカボールを入れるチーム対抗戦のゲーム。高い得点にはなかなか入らないものに入った時のチームの盛り上がりは、喜びに満ちたものすごい歓声が聞かれました。

2日目は「夏を蹴り飛ばせ! 蹴ってスイカボーリング!!」。足を使ったボーリング。スイカのビーチボールが軽すぎてなかなか狙った所に行かないジレンマ。でも、ストライクが出た時は、「ヤッター!」とチーム一体となった楽しい雰囲気になりました。

3日目は「うちわで夏を吹き飛ばせ!」。うちわをラケットにして紙風船を打ち浮き輪の的を狙う対抗戦のゲーム。チームの為に高得点を狙う方、確実の点数を稼ぐ方、皆さんそれぞれに真剣な眼差しで取り組まれ、笑顔があふれるゲームができましたよ。



レクリエーションでお腹を空かさせたところでお待ちかねの『そうめん流し』のスタート。天候にも恵まれ中庭では焼き鳥とチャーハンの調理実演。男性職員の調理している雄姿を見ながらの食事に皆さんとても喜ばれていました。中庭をぐるっと囲む全長28メートルの流し棚。「いただきます!」の声で色とりどりのそうめんを流しました。皆さん上手にすくい「美味しい♪」と言いながら完食される方も多くおられました。





火曜日 水曜日 木曜日



行事を楽しめる利用者さんの笑顔

楽しみにされていた行事だけに、「とても美味しかったよ。」と喜びの声が多く聞かれ、たくさんの笑顔も見られました。また、「苦しい〜い!」とか「お腹が破裂しそう!!」という声もたくさん聞かれ、いつもよりつい食べ過ぎた方も多くおられた様でした。行事メニュー→



今回の行事担当者は、“夏”をテーマとしたレクリエーションやそうめん流しを盛り上げようと企画から運営まで大活躍で、動き回っていました。利用者の方々の喜びの声や満面の笑みが担当職員だけでなくふる里全職員の今後の力となります。これからもお楽しみに♪

From 行事担当 嶋原 有希・木戸 美恵

高齢者自立支援センター ふる里

【高齢者自立支援センターふる里】とは…

介護認定を受けておられない方(総合事業対象者)と要支援1及び2の方を対象とした新事業の高齢者活動支援サービス事業(A型)を平成29年4月から始めました。名称は「高齢者自立支援センターふる里」といいます。

生涯、健康で安全・安心な自立した生活が送れるように支援していくことを目的とし、専門的な職員(自立支援プランナー)がサポートいたします。ご興味のある方は、いつでもどうぞ。ご連絡をお待ちしております。



8月の行事予定

◆ふる里8月行事『』 21日(火)・22日(水)・23日(木)

◆生花教室 ~山崎弘子先生~ 6日(月)・24日(金)

◆書道教室 ~中村朱実先生~ 9日(木)・20日(月)

◆おはなしの部屋~鐘ヶ江先生他~ 29日(水) ※1

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、午前中入浴となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ~中村寿美子先生~ 28日(火)

◆やわらぎ(鍼灸マッサージ師)~平島泰士先生~ … 毎週火・木・金曜日

※2 永年にわたり体のケアをして頂きました『やわらぎ』様ですが、先生のご都合により8月末をもって終了となります。これまで誠にありがとうございました。

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後(1・8・29日実施予定)

※3 おしゃれサロンは、先生の都合によりしばらくお休みいたします。



今月の作品



書道教室



押し花教室



生け花教室



今年の夏は30年に一度の異常気象と言われていました。8月に入り、夏はこれからが本番。暑い日が続くと、疲れが抜けにくい、食欲がわかなくなることがあります。これはいわゆる「夏バテ」の状態です。暑さはまだまだ続きます! 水分補給や部屋の温度管理など「夏バテ対策」をしっかり行い、この暑い夏を元気に乗り切りましょう!!

編集後記 三岳 健吾